

バングラデシュ

## 母子保健改善を受注

オリコンサル  
グローバル 意識向上など支援

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、バングラデシュ保健家族福祉省と円借款事業の母子保健および保健システム改善事業のコンサルタント契約を締結した。契約額は約7億1600万円。14日に現地で行われた契約調印式には同省のZahid Maileque大臣も出席し、日本からの支援に謝意を示した。写真。

同事業では、「母子保健改善事業（保健・人口・栄養セクター開発プログラム）（フーズ1）」に引き続き、母子保健にかかる意識向上とサービス提供の改善を支援するとともに、食慣習や生活様式の変化などに伴い近年課題となっている非感染性疾患の早期診断のための医療機材の整備、医科大学での教育環境の改善を支援する。



今回の契約には詳細設計、入札補助、施工管理が含まれており、既存の全7管区8つの病院に対し、画像診断棟建設や画像診断機材など最新の医療器材の調達、調達器材に関する研修を実施すること、同国民の保健・医療状況改善に貢献する。画像診断棟は現時点ではRC造地下1階地上4階建て（基礎6階）延べ約4200平方メートルの規模を想定している。